

事前評価個表

整理番号	9
------	---

地域（地区）名	^の と能登	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	石川県	対象市町村	わじま輪島市ほか 11 市町
事業実施期間	R7 年度～R11 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、石川県北部に位置し、区域面積は 217,322ha（県土面積の 52%）で七尾市をはじめ 5 市 7 町が含まれる。</p> <p>本地区の森林面積は 144 千 ha で、このうち民有林が 143 千 ha（森林面積の 99.7%）となっており、民有林における人工林は 72 千 ha で人工林率は 50%と高く、県平均の 40%と比べて高くなっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、10～19 齢級が 48 千 ha と全体の 67%を占めており、森林資源は成熟しつつある一方で、9 齢級以下が 19 千 ha と全体の 26%を占めており、健全な森林を育成していく上でも保育間伐や主伐・再造林等の森林整備が必要となっている。</p> <p>しかしながら、本地区では、林業採算性の悪化による森林所有者の経営意欲の減衰などの理由により、適切な森林整備が行われない森林が増加するなど、森林の有する水源涵養機能や土砂流出防止機能等の多面的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。</p> <p>このため、森林の有する水源涵養機能等の多面的機能を総合的かつ高度に発揮するため、適正な森林整備の実施に努めているところであり、本事業では、本計画に基づき、造林、保育、間伐、更新伐、花粉発生源の伐採・植替等の適切な森林整備と併せ、その効率的な実施に必要な路網整備を行うものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,970ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐、一貫作業等</p> <p>路網整備：150m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設</p> <p>総事業費：3,291,088 千円（税抜き 2,991,898 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.93</p> <p>（総便益（B）=17,179,651 千円、総費用（C）=4,368,192 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：人工林のうち 9 齢級以下が 19 千 ha と全体の 26%を占めており、適正な森林整備及び木材の利活用による持続的な森林経営を進めることが求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：計画的な森林整備により水源涵養機能や土砂流出防止機能、地球環境保全等の森林の有する多面的機能の維持増進が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：石川県

地域(地区)名：能登

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,586,941	
	流域貯水便益	1,228,510	
	水質浄化便益	5,020,303	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,038,552	
環境保全便益	炭素固定便益	654,397	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,567,129	
森林整備経費縮減便益	森林管理等経費縮減便益	12,078	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	1,890	
維持管理費縮減便益		69,851	
総 便 益 (B)		17,179,651	
総 費 用 (C)		4,368,192	
費用便益比	$B \div C =$	$\frac{17,179,651}{4,368,192} = 3.93$	

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C =$	$\frac{26,563,209}{4,609,354} = 5.76$	
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C =$	$\frac{34,608,604}{5,100,311} = 6.79$	

森林環境保全整備事業 能登地域（石川県）概要図

